

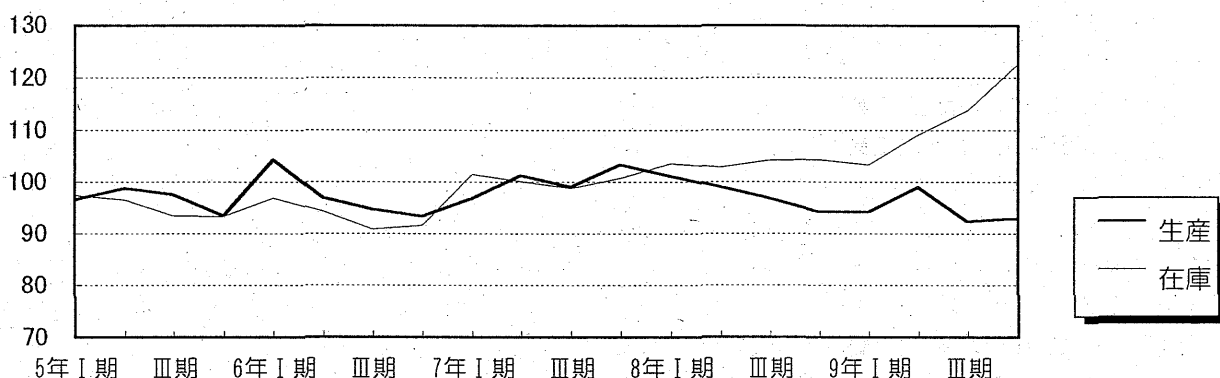
## Ⅱ 業種別鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

### 1 鉄鋼業

**9年の県内鉄鋼業の生産指数は94.5で、対前年比3.2%減少した。**

四半期別にみると、1～3月期は94.2（対前期比増減なし）、4～6月期は98.9（同5.0%増）、7～9月期は92.3（同6.7%減）、10～12月期は93.0（同0.7%増）となった。

一方、**在庫指数の年平均は112.0で、対前年比8.1%増加した。**これを四半期別にみると、1～3月期は103.3（対前期比1.0%減）、4～6月期は109.1（同5.6%増）、7～9月期は113.7（同4.2%増）、10～12月期は122.7（同7.9%増）となった。

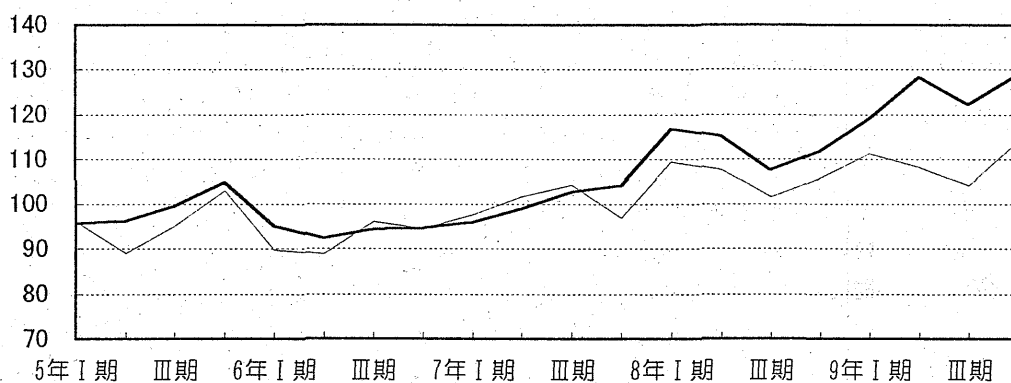


### 2 非鉄金属工業

**9年の県内非鉄金属工業の生産指数は124.1で、対前年比10.0%増加した。**

四半期別にみると、1～3月期は119.0（対前期比6.5%増）、4～6月期は128.3（同7.8%増）、7～9月期は122.0（同4.9%減）、10～12月期は129.0（同5.7%増）となった。

一方、**在庫指数の年平均は109.3で、対前年比3.2%増加した。**これを四半期別にみると、1～3月期は111.3（対前期比5.4%増）、4～6月期は108.3（同2.8%減）、7～9月期は104.0（同3.9%減）、10～12月期は114.1（同9.7%増）となった。



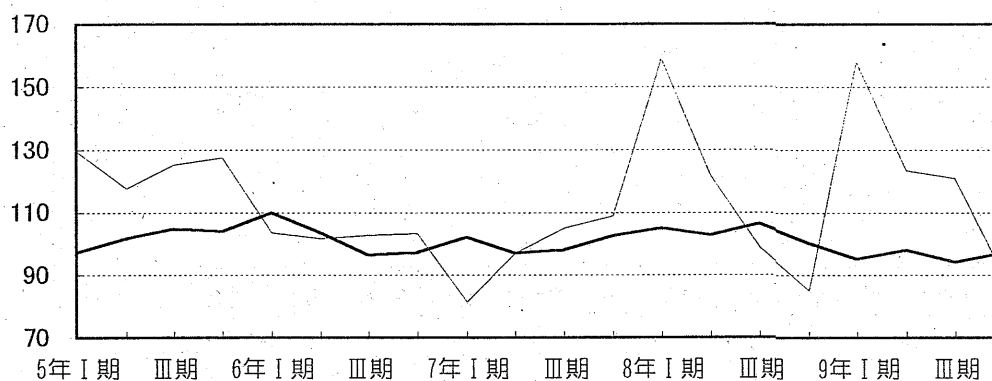
### 3 金属製品工業

**9年の県内金属製品工業の生産指数は95.7で、対前年比8.2%減少した。**

四半期別にみると、1～3月期は95.2（対前期比5.1%減）、4～6月期は98.0（同2.9%増）、7～9月期は94.2（同3.9%減）、10～12月期は97.2（同3.2%増）となった。

**一方、在庫指数の年平均は120.7で、対前年比8.5%増加した。**

これを四半期別にみると、1～3月期は158.0（対前期比86.0%増）、4～6月期は123.4（同21.9%減）、7～9月期は120.9（同2.0%減）、10～12月期は89.3（同26.2%減）となった。

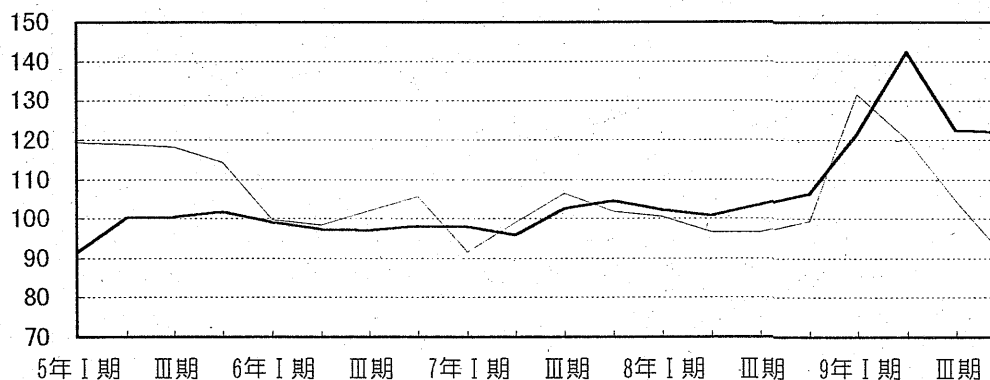


### 4 一般機械工業

**9年の県内一般機械工業の生産指数は126.5で、対前年比22.7%増加した。**

四半期別にみると、1～3月期は121.5（対前期比14.4%増）、4～6月期は142.4（同17.2%増）、7～9月期は122.4（同14.0%減）、10～12月期は121.8（同0.5%減）となった。

**一方、在庫指数の年平均は110.8で、対前年比12.8%増加した。**これを四半期別にみると、1～3月期は131.6（対前期比32.4%増）、4～6月期は120.2（同8.7%減）、7～9月期は104.5（同13.0%減）、10～12月期は90.1（同13.8%減）となった。

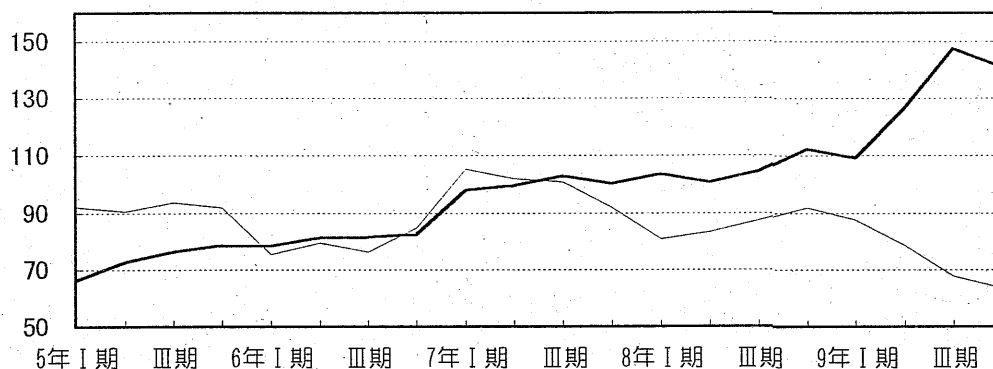


## 5 電気機械工業

**9年の県内電気機械工業の生産指数は130.0で、対前年比23.9%増加した。**

四半期別にみると、1～3月期は109.2（対前期比2.8%減）、4～6月期は127.0（同16.2%増）、7～9月期は147.5（同16.2%増）、10～12月期は141.0（同4.4%減）となった。

一方、**在庫指数の年平均は74.3で、対前年比13.7%減少した。**これを四半期別にみると、1～3月期は87.7（対前期比4.7%減）、4～6月期は78.6（同10.4%減）、7～9月期は67.8（同13.7%減）、10～12月期は63.6（同6.1%減）となった。

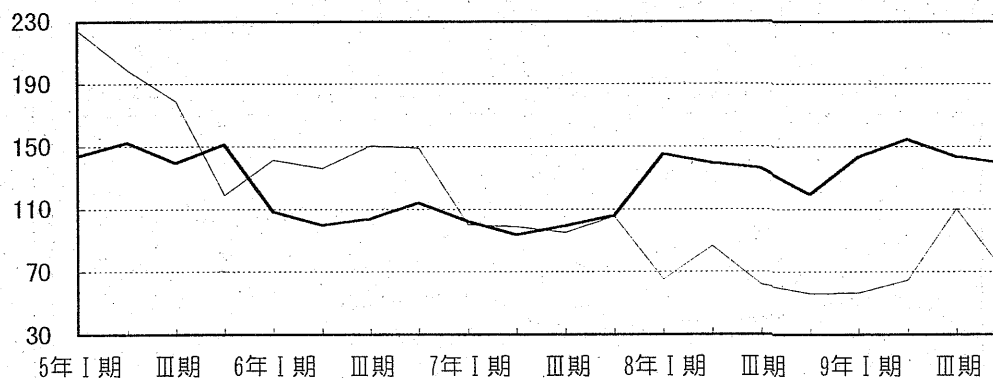


## 6 輸送機械工業

**9年の県内輸送機械工業の生産指数は144.7で、対前年比7.7%増加した。**

四半期別にみると、1～3月期は142.8（対前期比19.8%増）、4～6月期は154.4（同8.1%増）、7～9月期は143.5（同7.1%減）、10～12月期は139.0（同3.1%減）となった。

一方、**在庫指数の年平均は69.2で、対前年比5.3%増加した。**これを四半期別にみると、1～3月期は56.7（対前期比0.4%増）、4～6月期は64.5（同13.8%増）、7～9月期は110.5（同71.4%増）、10～12月期は67.8（同38.7%減）となった。

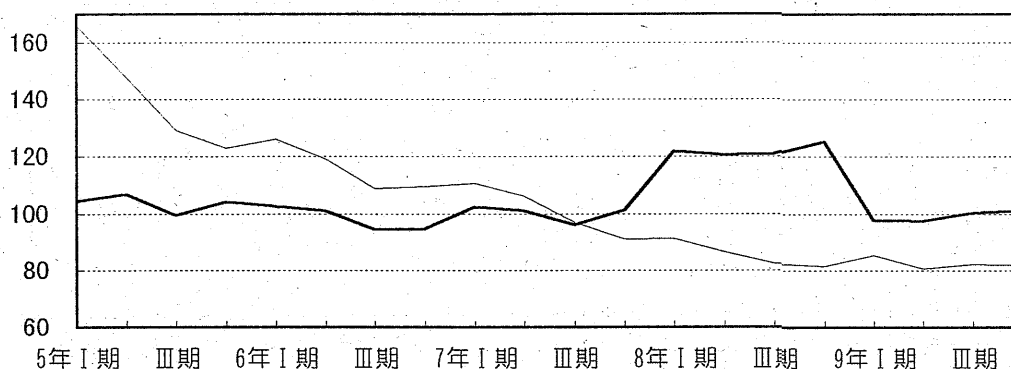


## 7 窯業・土石製品工業

**9年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は99.2で、対前年比18.7%減少した。**

四半期別にみると、1～3月期は97.9（対前期比21.8%減）、4～6月期は97.4（同0.6%減）、7～9月期は100.5（同3.2%増）、10～12月期は101.0（同0.5%増）となった。

一方、**在庫指数の年平均は82.3で、対前年比3.1%減少した。**四半期別にみると、1～3月期は85.5（対前期比5.0%増）、4～6月期は80.7（同5.6%減）、7～9月期は82.1（同1.7%増）、10～12月期は81.7（同0.5%減）となった。

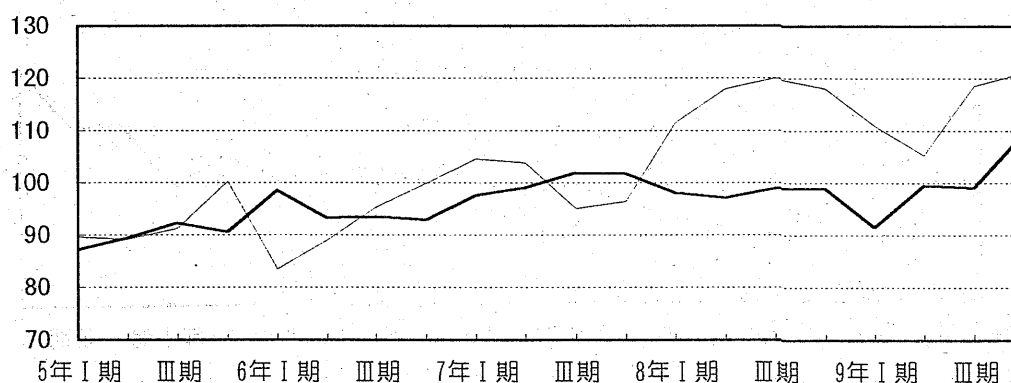


## 8 化学工業

**9年の県内化学工業の生産指数は99.5で、対前年比1.3%増加した。**

四半期別にみると、1～3月期は91.5（対前期比7.3%減）、4～6月期は99.5（同8.7%増）、7～9月期は99.0（同0.5%減）、10～12月期は109.6（同10.7%増）となった。

一方、**在庫指数の年平均は113.6で、対前年比2.5%減少した。**これを四半期別にみると、1～3月期は110.9（対前期比6.0%減）、4～6月期は105.2（同5.1%減）、7～9月期は118.5（同12.7%増）、10～12月期は121.0（同2.1%増）となった。

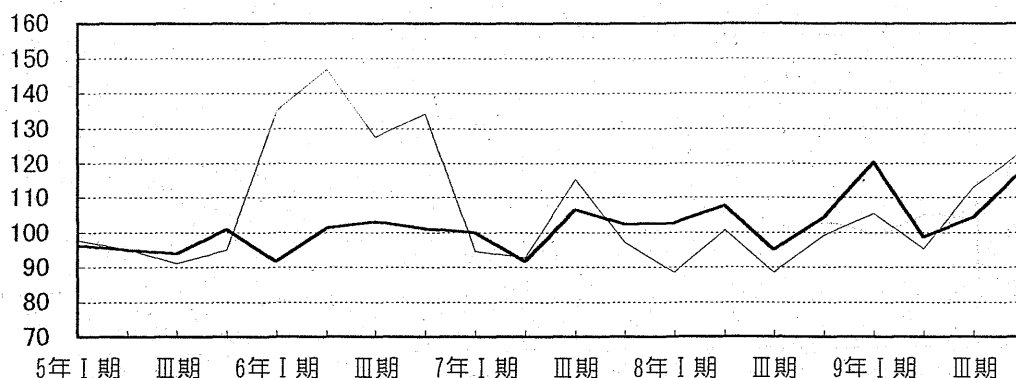


## 9 石油・石炭製品工業

9年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は110.0で、対前年比7.2%増加した。

四半期別にみると、1～3月期は120.3（対前期比15.2%増）、4～6月期は98.7（同18.0%減）、7～9月期は104.5（同5.8%増）、10～12月期は118.3（同13.2%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は109.1で、対前年比15.4%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は105.7（対前期比6.5%増）、4～6月期は95.3（同9.8%減）、7～9月期は113.0（同18.5%増）、10～12月期は123.6（同9.4%増）となった。

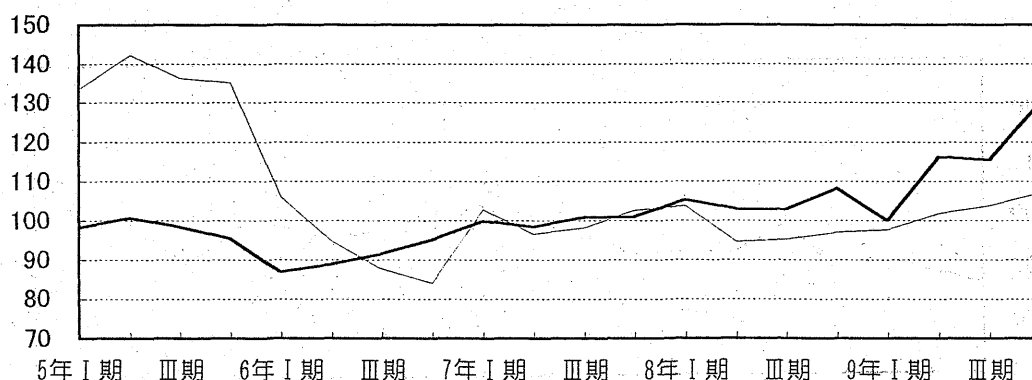


## 10 プラスチック製品工業

9年の県内プラスチック製品工業の生産指数は114.8で、対前年比9.6%増加した。

四半期別にみると、1～3月期は100.0（対前期比7.4%減）、4～6月期は116.3（同16.2%増）、7～9月期は115.3（同0.8%減）、10～12月期は129.9（同12.7%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は102.6で、対前年比5.1%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は97.7（対前期比0.7%増）、4～6月期は101.8（同4.2%増）、7～9月期は103.8（同2.0%増）、10～12月期は106.9（同2.9%増）となった。

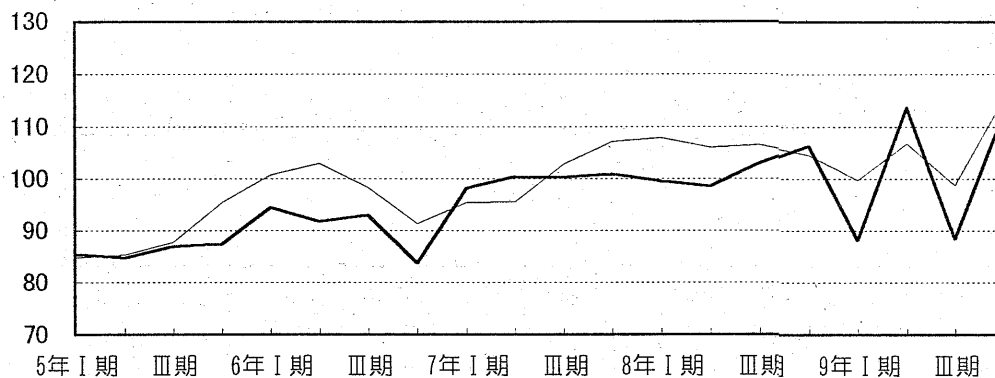


## 1 1 パルプ・紙・紙加工品工業

9年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は99.4で、対前年比2.3%減少した。

四半期別にみると、1～3月期は88.2（対前期比17.0%減）、4～6月期は113.5（同28.7%増）、7～9月期は88.5（同22.1%減）、10～12月期は112.7（同27.4%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は104.7で、対前年比1.5%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は99.7（対前期比4.6%減）、4～6月期は106.8（同7.1%増）、7～9月期は98.7（同7.5%減）、10～12月期は115.4（同16.8%増）となった。

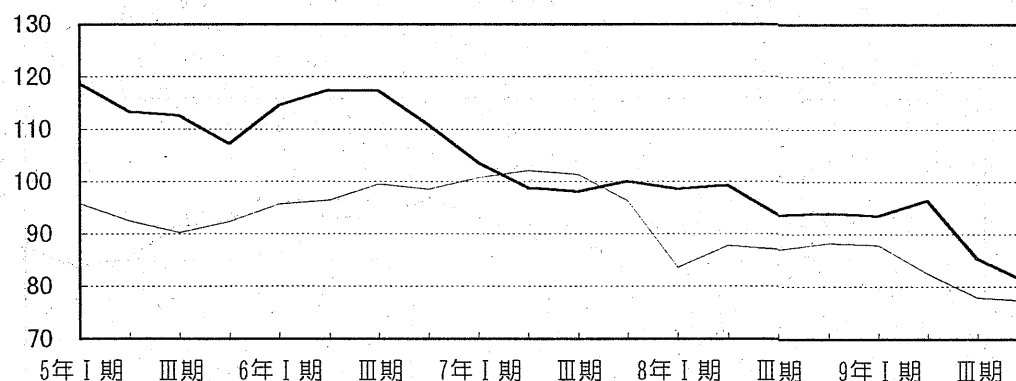


## 1 2 繊維工業

9年の県内繊維工業の生産指数は88.7で、対前年比7.8%減少した。

四半期別にみると、1～3月期は93.5（対前期比0.6%減）、4～6月期は96.4（同3.1%増）、7～9月期は85.3（同11.5%減）、10～12月期は80.7（同5.4%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は81.3で、対前年比6.3%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は87.9（対前期比0.5%減）、4～6月期は82.5（同6.2%減）、7～9月期は78.1（同5.3%減）、10～12月期は77.4（同0.9%減）となった。



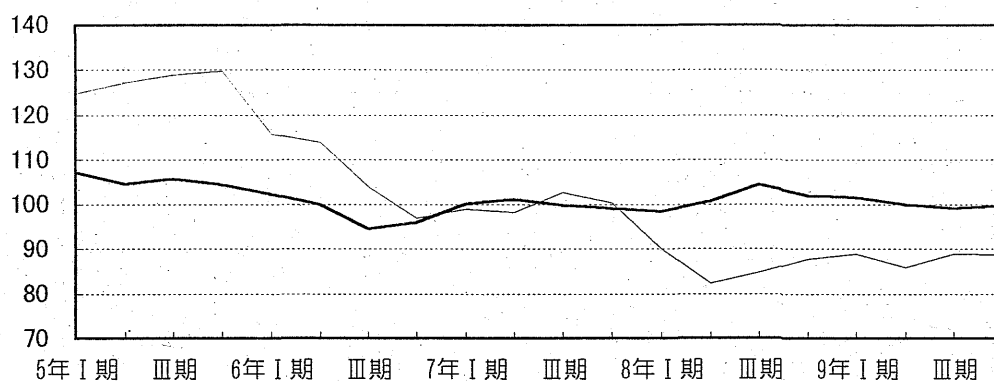
### 13 食料品工業

**9年の県内食料品工業の生産指数は100.1で、対前年比1.2%減少した。**

四半期別にみると、1～3月期は101.5（対前期比0.4%減）、4～6月期は100.0（同1.4%減）、7～9月期は99.2（同0.8%減）、10～12月期は99.7（同0.6%増）となった。

**一方、在庫指数の年平均は88.1で、対前年比2.2%増加した。**

これを四半期別にみると、1～3月期は88.9（対前期比1.4%増）、4～6月期は85.8（同3.5%減）、7～9月期は88.9（同3.5%増）、10月～12月期は88.7（同0.2%減）となった。

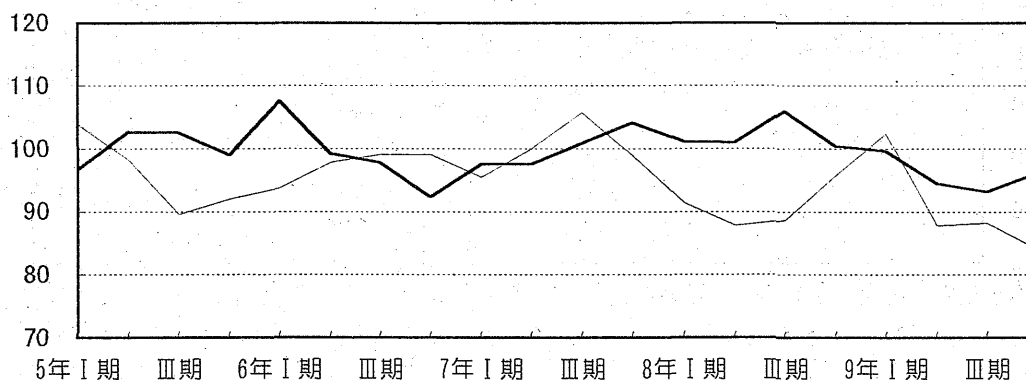


### 14 その他工業

**9年の県内その他工業の生産指数は95.7で、対前年比6.1%減少した。**各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業4.3%の増、家具工業1.3%の増、木材・木製品工業1.9%の増、その他製品工業35.0%の減であった。

四半期別にみると、1～3月期は99.6（対前期比0.8%減）、4～6月期は94.4（同5.2%減）、7～9月期は93.1（同1.4%減）、10～12月期は96.1（同3.3%増）となった。

**一方、在庫指数の年平均は90.5で、対前年比0.8%減少した。**各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業1.1%の増、家具工業6.7%の減、木材・木製品工業4.6%の増であった。これを四半期別にみると、1～3月期は102.4（対前期比6.9%増）、4～6月期は87.8（同14.2%減）、7～9月期は88.3（同0.5%増）、10～12月期は84.0（同4.8%減）となった。

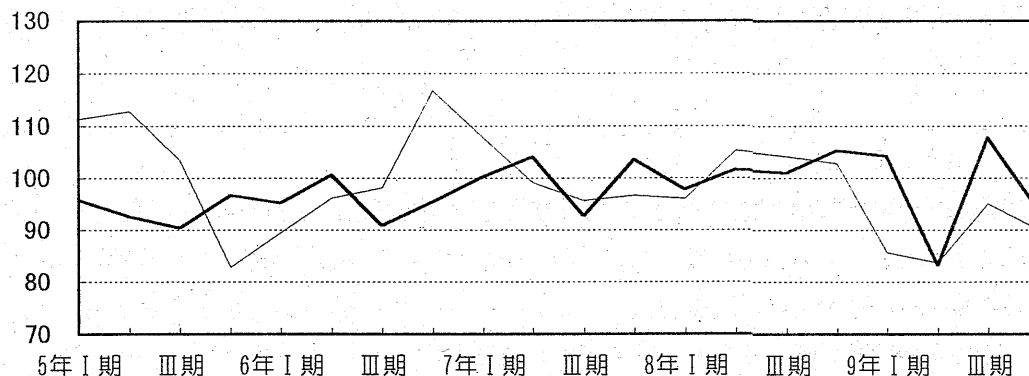


## 15 鉱業

9年の県内鉱業の生産指数は96.8で、対前年比4.5%減少した。

四半期別にみると、1～3月期は104.2（対前期比1.0%減）、4～6月期は83.2（同20.1%減）、7～9月期は107.7（同29.4%増）、10～12月期は93.8（同12.9%減）となった。

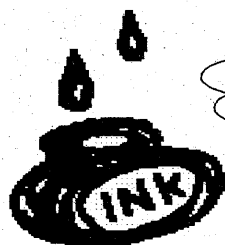
一方、在庫指数の年平均は88.5で、対前年比13.2%減少した。これを四半期別にみると、1～3月期は85.7（対前期比16.6%減）、4～6月期は83.7（同2.4%減）、7～9月期は95.1（同13.6%増）、10～12月期は90.0（同5.3%減）となった。



## 16 公益事業（参考）

9年の県内公益事業の生産指数は156.6で、対前年比40.2%増加した。

四半期別にみると、1～3月期は136.9（対前期比7.7%増）、4～6月期は171.2（同25.1%増）、7～9月期は161.8（同5.5%減）、10～12月期は160.2（同0.9%減）となった。



### 「指数」とは？

指数をあえて一言でいうならば、おなじ種類の統計数値の大きさを、比率にして表したものの、という事になります。

比較のもととなる「基準」を設けて、その基準を「100」として指数をあらわします。

それでは、なぜ「指数」を作る必要があるのでしょうか？

異なる時点、場所、単位の数値を比較する時に、単純に実数値だけを比べるだけでは「動き」までを見る事ができません。

たとえば、Aという工場とBという工場があり、ともに去年にくらべて100トン生産が伸びたとしましょう。これだけをみれば同じ100トンの伸びですが、前年の生産を基準としてみた時に、前年はA工場は50トン、B工場は1000トンの生産だったとしたら、どうでしょうか？

A工場は2倍の伸びになりましたが、B工場は1割の伸びにとどまっていることがわかります。

このように、異なる時点、場所の比較を行なうために、また異なった単位の統計数値を比較するには、指数はとても便利な指標であるといえます。